

# 水田農業の経営安定対策について

【農林水産省】

## 提案・要望の内容

米価の下落を食い止め、水田農業の経営安定化を図るためには、生産調整の確実な実施と、米生産者の所得保証のための損失補てん制度を充実させる必要があるため、次の対策を講じること。

- 1 飼料米等の新規需要米や麦・大豆などへの転作による生産調整を推進するための「産地づくり交付金」及び「水田経営所得安定対策（麦・大豆直接支払い）」の強化と運用の見直しを行うこと。
- 2 今後、米価の下落が続いても、水田農業が持続できる収入が保証されるよう、「水田経営所得安定対策（収入減少補てん対策）」の強化を図ること。

## 【現状と課題】

- 米の過剰作付けによる米価下落が懸念され、生産調整の実効性を高めて米価の安定を図ることが必要である。
- 本県では、転作作物として従来からの麦・大豆の振興に取り組んでおり、今後は水田をそのまま利用できる新規需要米等も推進する必要があるが、いずれも、その収支は生産費が収入を大きく上回っている。
- 収入の不足については、産地づくり交付金等によって補てんを行っているが、交付金の総額が定められている中、麦・大豆の新たな取り組みや、新規需要米の定着は困難である。
- 今後、米価の下落が続くと補てんの基準となる標準的収入額も連動して下降し、特に規模拡大に限界がありコスト低減が容易でない中山間地域の集落営農等では、近い将来（現況規模で中山間直接支払がある場合はH24、無い場合はH21以降：本県試算）、生産コストを割り込むことが確実である。

### 1 麦・大豆生産収支

	大麦	大豆	
		平坦	中山間
単収(kg/10a)	300	150	
収入(円/10a)	39,000	41,950	
生産費(円/10a)	56,235	65,424	89,912
所得(円/10a)	▲16,235	▲23,474	▲47,962

\*収入には固定払い交付金（大豆、大麦ともに15,000円程度）含む

### 2 飼料米生産収支

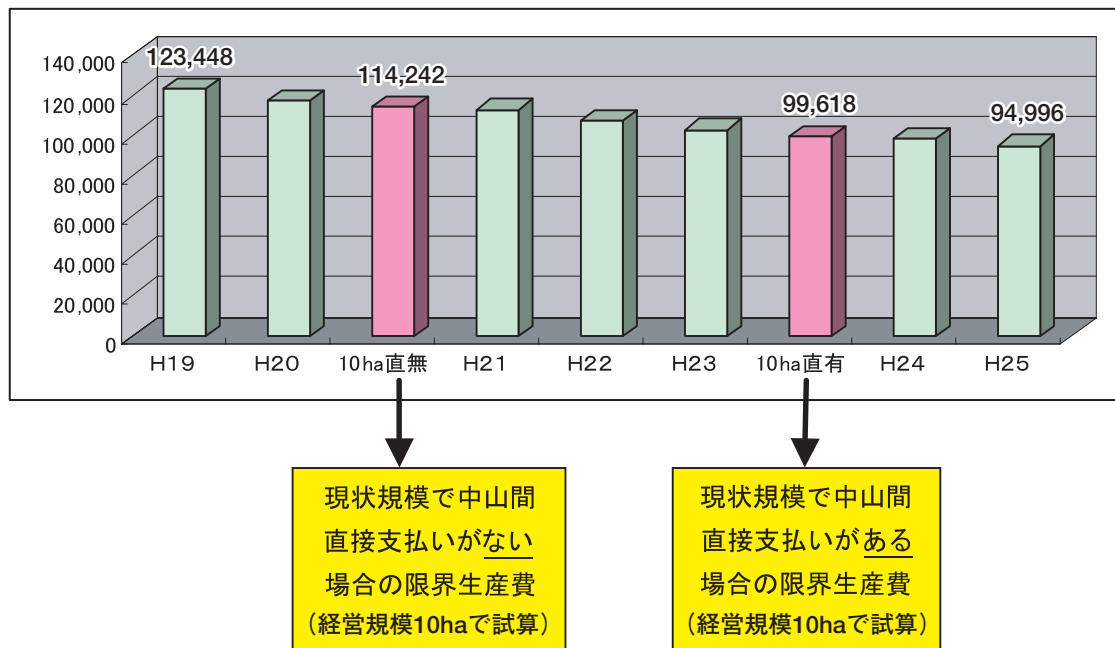
単収(kg/10a)	800
収入(円/10a)	16,000
生産費(円/10a)	66,000
所得(円/10a)	▲50,000

### 3 中山間地域における水田経営所得安定対策の標準収入額のシミュレーション

\* H20以降、毎年500円/60kg下降すると想定して本県産米について試算

\* 直：中山間地域等直接支払い

(単位:円/10a)



#### 【本県の取り組み状況・方針】

- 土地利用型担い手の主要転作作物として麦や大豆を位置づけ、生産振興を図っている。
- 飼料米生産定着化モデル事業を実施し、飼料米の生産、流通、給与に関する課題抽出と解決に向けた取り組みを進めている。
- これらの転作作物の持続的な生産振興に向け、産地づくり交付金の有効な活用について、指導、助言を行なっている。
- 水田農業の個別の担い手が確保しにくい中山間地域においては、全国に先駆けて集落営農の育成を推進し、米生産の低コスト化を図っている。
- 中山間地域等直接支払制度や農地・水・環境保全対策にも積極的に取り組み、総合的に稲作農家の所得向上に取り組んでいる。

#### 【提案要望の効果】

- 転作作物として大豆や麦、新規需要米等に安心して取り組めることにより、生産調整の実効性が確保され、米価の安定が図られるとともに、大豆や麦の自給率向上にも繋がる。また、土地利用型の担い手が安定して確保される。
- 中山間地域水田農業の重要な担い手である集落営農などの経営維持が可能となり、担い手が安心して稲作に取り組める環境が整備される。
- 本県の大部分を占める中山間地域の水田農業を維持することは、中山間地域農村の維持・活性化において重要な要素となる。